

# 平成 28 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 議事録

日 時：平成 29 年 2 月 10 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで

場 所：習志野市役所仮庁舎 4 階 委員会室

委員出席者：廣田委員（会長）、清水委員（副会長）、布施委員、荒木委員、  
佐々木委員、金子委員、鯨井委員、酒井委員、橋本委員、海寶委員、  
細川委員、越智委員、小池委員  
（欠席：木村委員、大塚委員）

事務局出席者：眞殿政策経営部長、鈴木政策経営部次長、真田総合政策課長、奥山係長、  
伊藤主任主事、渡部主任主事

議 題： 1 議事

（1）習志野市前期第 2 次実施計画及び習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略第 2 次アクションプランについて

2 その他

議 事 録：

## 資料 1（実施計画冊子案）について

佐々木委員）資料 1-2 の 5 ページ、数値目標の基準値が平成 26 年度となっているものの理由について伺う。

総合政策課長）毎年、数値を出していないため、最新の数値として平成 26 年度の数値を使用した。

佐々木委員）平成 27 年度の数値を設定しなくてもよいのか。

総合政策課長）隔年や 3 年ごとしか出ない数値については、直近の数値を使用して目標値と比較するようにしている。

小池委員）第 2 次実施計画ということなので、わかりやすくするためには同じような冊子の作り方をすることが大原則だと思う。第 1 次実施計画では成果指標と目標値が独立して掲載されていたが、第 2 次実施計画ではどうなるのか。

総合政策課長）事業担当課が基本計画における目標を把握しやすくするために、予定事業掲載箇所に成果指標を記載するようにした。

小池委員）成果指標と数値目標は独立して掲載するようにしてほしい。

## 資料 2（第 2 次実施計画・アクションプラン掲載検討事業集計表及び一覧表）について

酒井委員）介護予防普及啓発事業、二次予防事業対象者把握事業及び通所型介護予防事業は、「介護予防・日常生活支援総合事業」に統合されたとの理解でよいか。

総合政策課長）そのとおりである。

布施委員）ハミングロード再整備事業は平成 31 年度までに詳細に何を実施するのか。

総合政策課長）路面補修、ガードパイプ、植栽の整備等を実施する予定である。

布施委員）整備率を何%にするといった数値目標を設定したほうがよいと思うがいかがか。

## 平成 28 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 議事録

総合政策課長) 担当課と協議をしたい。

布施委員) 数値目標を設定できる事業については設定してほしい。

佐々木委員) 小学校トイレ改善事業は完了していないと思うが掲載を終了するのか。

政策経営部長) (確認後、回答) 小学校トイレ改善事業について事業としては終了したが、小学校大規模改造事業の中でトイレ整備を実施している。

### 資料 3 (第 2 次実施計画に掲げる成果指標一覧) について

清水委員) 2-2-1 「市街地整備の推進」の成果指標「景観計画の策定」について、現在、策定中で、平成 31 年度に案作成となっている。以前の一般質問では、平成 27、28 年度で策定、平成 29 年度から運用を図ると答弁があったが、遅れている原因について伺う。

企画政策係長) 市民の財産に影響を与える事案であることから、市民意見の聴取やアンケート調査を行うため、時間がかかっているとのことである。

清水委員) 景観計画策定に係る体制が整っていないように感じる。公共施設再生を進めるに当たっても指針となるものと考えているため、遅れている原因や遅れを取り戻す手段を検討し、景観計画が早く策定できるように要望する。

酒井委員) 1-1-1 「健康づくりの充実」の成果指標を「健康寿命」に設定した理由について伺う。

総合政策課長) 第 1 次実施計画では、「健康寿命」と「健康診査の受診率」の 2 つを設定していた。健康診査の受診率は健康寿命の増進につながる一つの施策であるということから一本化した。

酒井委員) 健康診査の受診率は達成できているのか。

総合政策課長) 平成 27 年度末で 34% であり、まだ達成していない。

酒井委員) 成果指標を変更したものの説明は記載があったほうがよい。

1-2-1 「商業・工業・農業・観光の振興」の成果指標「市内事業所数」について、進行を謳った実施計画において、現状維持が目標となる指標は検討したほうがよいのではないか。

総合政策課長) 事業所数の減少が近年の傾向であり、担当課としては大きく伸びることは難しいと考え、現状維持をするという目標を設定した。

布施委員) 2-1-5 「交通安全の推進」の成果指標「交通安全教室の参加者数」について、目標値の根拠を伺う。

総合政策課長) 児童生徒数が減少傾向にある中、高齢者や一般向けの教室を拡充することで、基準値と同程度の数値を維持したいということで数値の設定をしている。

布施委員) 基準値については児童生徒のみでなく、高齢者や一般の方も入っているという理解でよいか。

総合政策課長) (確認後、回答) 交通安全教室の参加者数には高齢者も含まれている。児童生徒数が減る中、高齢者の参加者数を増やしていきたいと、担当としては考えている。

布施委員) 児童生徒数の減少傾向を加味しているとは思いますが、基準値に対して、目標値が低

## 平成 28 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 議事録

いように感じる。習志野市は交通安全計画が策定されていないことからすると、交通安全に対する認識が少し弱いと感じている。小中学校、高校での交通安全教室のみならず、高齢者や一般の人が参加する交通安全教室の開催を増やして、もっと高い数値目標を持ってほしい。

3-2-2「学校教育の向上」について、目標値の設定根拠について伺う。

総合政策課長) ①については、全国学力・学習状況調査の最高値を目標値としている。②については、同調査の上位5県の最高値を目標値としている。

布施委員) 目標値は100%であってほしい。それくらいの意気込みを行政には持ってほしい。

海寶委員) 3-2-1「幼児教育の向上」の成果指標「朝食を食べる児童の割合」の目標値が現状維持になっているが、一般の市民が見た場合、変わらないとの印象を受けると思う。具体的な数値を設定したほうがよいと感じた。

荒木委員) 2-2-5「ガス・水道事業の充実」について、4月からガス事業が自由化されるが、自由化に対する目標設定は必要ないのか。

総合政策課長) 安全・安心「快適なまち」、暮らしを支える都市基盤の整備の成果指標であるため、自由化への対応ということよりは、安全・安心「快適なまち」の実現のために必要な取組事業の目標として設定している。

荒木委員) 自由化され民間が参入してくると企業局としての契約が減る可能性がある。その場合も民間が対応しているから特別影響はないという判断か。

総合政策課長) 影響がないという判断を企業局がしているということではないが、一定の基準・ルールの中で参入するということであるので、安全・安心「快適なまち」は実現されると捉えている。

政策経営部長) 4月からのガス事業自由化については、販売について参入が可能となる。都市基盤としてのガス管の整備は従来どおり企業局が行っていく。

ガス事業自由化が、安価に供給してきたガス事業に与える影響、危機感を、目標の中で出していないのかという指摘については、企業局に伝える。

荒木委員) 各種イベントにおいて集客した人の割合の根拠について伺う。

総合政策課長) 集客目標があり、その目標に対する集客率を設定している。

荒木委員) 毎年、目標は変わってくるのか。

総合政策課長) 確認して後程、回答する。(※3)

荒木委員) 目標数値を毎年、自由に決められるのであれば指標にする意味がないので、しっかり確認してほしい。

金子委員) 3-2-1「幼児教育の向上」について、子どもの貧困が叫ばれ、3食を食べられない子どもがいる中で、現状維持という目標であると、平成31年度まで見捨てられてしまうという感じがするので、市として対策をとってほしい。

総合政策課長) 担当と調整をする。第2次実施計画から変更した指標であり、担当としては意識をして取り組むという意向の表れと考えている。

## 平成 28 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 議事録

### 【回答が保留となっていたものについて】

(※1) イベントとは、ガスフェスタ、ミニガス展、料理教室、企業向け内覧等である。ガスフェスタは実行委員会が目標を決めるものであり、年によって変動の可能性がある。

### 【全体を通じての意見】

海寶委員) 計画については詳細にわたって記述がされている印象を持つ。

小池委員) 景観行政推進事業について、何かしら市民の活動に規制をかけるということであれば、計画策定とともに条例制定についても触れるべきと感じた。

酒井委員) 資料 2-2 の No. 2 2 1 については事業概要等を詳細に記載してほしい。